

平成15年度の鳥取県立博物館

1 総 論

平成15年4月、谷口博繁館長就任。

主要事業として、展覧会（特別展「世界どうぶつ物語」、特別展「よみがえる仏像」、特別展「発掘された日本列島2003」、企画展等）を開催し、鳥取県に関する事柄、学芸員がテーマを定め調査研究したもの、世界的・全国的あるいは特色のあるものなどを広く県民に紹介した。また、第8次郷土視覚定点資料収集事業として、郷土の変化を視覚的かつ的確に把握・理解するために、5年ごとに県内の一定地点の写真撮影を行った。

また、館蔵資料補修保存事業として、自然（剥製他）資料修復・赤羽刀研磨・絵画（伊谷油彩画）資料修復保存を行った。

2 各課の概況

(1) 管理課

- ・特別展前売入館券制度の導入及び特別展前売入館券の委託販売開始
- ・広報ボランティア（ポスター貼ります隊）の募集を開始（H16.2）
- ・講堂スクリーン改修工事の実施他

(2) 学芸課

●自然係

- ・展覧会の開催：特別展「世界どうぶつ物語」
- ・アジア最古のスズメ目化石の発見
- ・種子植物新種の発見「サンインヒエスゲ」
- ・化石産出地調査事業（3ヶ年）2年目

●人文係

- ・定数1名増
- ・展覧会の開催：特別展「発掘された日本列島2003」、企画展「因伯の古代寺院」
- ・歴史民俗常設展示室改善（H16.3月）
- ・第8次郷土視覚定点資料収集事業
- ・鳥取県の仏像調査報告書刊行
- ・鳥取県の祭り・行事調査事業（3ヵ年）1年目
- ・鳥取藩政資料デジタル化によるCD複写サービス開始

(3) 美術振興課

- ・定数1名増
- ・展覧会の開催：特別展「よみがえる仏像－仏像修理と仏師・国米泰石－」、催物展「高知県立美術館ベストセレクション シャガール版画展」（H14～H15）、企画展「現代の表現 鳥取 vol.1 4 Rooms」（今年度よりシリーズ化）、企画展「富山県立近代美術館所蔵ルオー版画展」
- ・作家調査
- ・石谷家（智頭町）資料調査開始